

学校教育目標：一人一人が輝き、共に生きる高松っ子の育成

平成27年度

高松小 学校だより

12月号

砂立

平成27年12月1日

校長 山本 洋

*** 児童劇団「**勇気ある知恵者 桜井三郎左衛門物語**」が初公演 ***

11月25日水曜日、高小体育館で児童劇が開催されました。地域のみなさんをたくさんお迎えして、全校児童が観劇しました。これは、高松公民館が中心となり小学生がふるさと高松が誇る偉人を劇でたくさんの人に伝えていこうというものです。今年の春から、毎週木曜日放課後公民館に集まり、1～6年希望者18名が一生懸命練習を重ね、初公演にいたったものです。【ホームページに詳細カラー写真掲載】



とってもすばらしい劇でした。長くて難しい言葉をよく覚ええました。かつらや衣装がこんなに似合うとは思いませんでした。そして、あんな大勢の人の前で立派に劇をやりとげたことにもびっくりです。おかげで、桜井三郎左衛門がどんなえらい人か教えてもらうことができました。そして何より私たち見る人を楽しませてくれました。短い練習期間でここまでよくがんばりました。これも公民館を始めボランティアの地域教育力（指導）のおかげだと感謝しています。

私は常々子どもたちに、学力はもちろん、豊かな人間性と社会性、そして将来たくましく生き抜く力を付けていって欲しいと願っています。そのためには、積極的に地域社会の様々な活動に参加し、地域の知らないことを知り、たくさんの人とふれあい、地域を愛する態度を養うことが必要です。学校では、子どもたちに、「ふるさと高松」のこと、たとえばぶどうや柿、鶴彬や東善作のことを学習して、地域を愛する子どもたちを育てています。しかし、学校だけでは、十分できるものではありません。地域と連携して本物の体験をすることによって、初めて真の力を付けることができると考えています。今回の子ども劇の取組は、そういった意味でたいへん意義のある重要な活動であると思います。これからも学校と地域社会がますます力を合わせて子どもを育てることを進めていきたいと考えています。ありがとうございました。

＝ 第2回学校支援委員会が開かれました ＝

【11/4付けホームページに詳細とカラー写真】

今回の議題は、前期学校評価（児童・保護者・教職員アンケート）の結果について。そして、今年度の学力調査についてご報告いたし、ご意見をいただきました。話合われた主な内容は以下の事柄です。

- ・学力調査の結果・分析と学力向上策について
 - ・学校評価中間報告の弱みや強みについて
 - ・ふるさとに愛着を持つ心豊かな児童を育てるための学校の取組（ふるさと学習）について
 - ・いしかわっ子駅伝大会での好成績と学校としての体力づくりについて
 - ・11/1の学校公開週間の道徳授業公開と親子講演会（ラインやSNSに潜む危険）について
 - ・保護者や地域の教育力の育成について
- たくさんのご意見ありがとうございました。**

